

I 沿革・組合管内の状況

1 西胆振行政事務組合の沿革

昭和45年	6月	「北海道第1162号指令」により、消防一部事務組合の設立許可がなされる	
	7月	西胆振消防組合を構成する虻田町、豊浦町、壮瞥町、洞爺村による第1回組合議会臨時会を招集し、正式に発足	
	8月	消防長「藤原重雄」氏外7名で本部（署）を発足（その内兼務者5名）	
	10月	虻田支署、洞爺湖温泉支署、豊浦支署、壮瞥支署、洞爺支署が発足	
	〃	伊達市と西胆振消防組合との間に消防相互応援協定を締結	
〃	12月	【壮瞥支署】庁舎新築（鉄筋コンクリート2階 364.05㎡）	
	〃	【豊浦支署】大岸分遣所新築（補強コンクリート2階 82.90㎡）	
	〃	【豊浦支署】礼文華分遣所新築（補強コンクリート2階 82.90㎡）	
昭和46年	1月	【洞爺支署】庁舎改築（木造瓦葺平屋 111.90㎡）	
	〃	【洞爺支署】車庫新築（鉄筋補強コンクリート平屋 108.54㎡）	
	〃	【洞爺支署】職員待機宿舎新築（木造平屋2戸 61.56㎡）	
	3月	【消防本部（署）、虻田支署】合同庁舎新築（鉄筋コンクリート2階 535.65㎡）	
	5月	第23回全道消防大会を洞爺湖温泉で開催	
10月	西胆振消防組合管下の大規模総合演習を洞爺湖温泉で実施		
昭和47年	7月	西胆振消防組合に大滝村が加入し、大滝支署が発足	
昭和48年	7月	胆振地方消防総合訓練大会を洞爺湖温泉で開催	
昭和49年	2月	財団法人日本消防協会より壮瞥消防団に表彰旗受与	
	8月	羊蹄山ろく消防組合と西胆振消防組合との間に消防相互応援協定を締結	
	12月	【壮瞥支署】職員待機宿舎新築（木造平屋1戸 72.87㎡）	
昭和50年	4月	初代消防長「藤原重雄」氏が勇退、「田代正三」氏が消防長事務取扱い発令	
	7月	胆振地方消防総合訓練大会を洞爺湖温泉で開催	
	11月	室蘭市と西胆振消防組合との間に消防相互応援協定を締結	
昭和51年	4月	「田代正三」氏が2代専任消防長に就任	
	11月	【温泉支署】職員待機宿舎新築（鉄筋ALC板1棟3階9戸 502.20㎡）	
	〃	【壮瞥支署】職員待機宿舎新築（補強コンクリート平屋1棟2戸 118.80㎡）	
昭和52年	5月	消防本部（署）が洞爺湖温泉に移転し、温泉支署と合同庁舎	
	7月	大滝村合同庁舎新築により、大滝支署移転	
	〃	消防長「田代正三」氏が急逝	
	〃	北海道消防操法訓練大会において、第2種ポンプ車操法で壮瞥消防団が準優勝	
	8月	有珠山が大噴火し、未曾有の被害を受ける	
	〃	「水合喜久男」氏が3代消防長に就任	
〃	12月	【壮瞥支署】職員待機宿舎新築（補強コンクリート平屋1棟3戸 179.49㎡）	
	〃	【虻田支署】職員待機宿舎新築（木造平屋1戸 71.229㎡）	
	昭和53年	8月	有珠山大噴火に伴う防災功労により、北海道知事と消防庁長官から受与
		9月	有珠山大噴火に伴う防災功労により、内閣総理大臣から受与
10月	洞爺湖温泉町で大規模泥流が発生し、死亡者2名、行方不明1名		
11月	【壮瞥支署】久保内分遣所新築（鉄骨トリアングル2階 226.74㎡）		
12月	【壮瞥支署】職員待機宿舎新築（補強コンクリート平屋1戸 59.83㎡）		
昭和54年	11月	【壮瞥支署】職員待機宿舎新築（鉄筋コンクリート平屋1棟2戸 118.80㎡）	
	12月	消防長「水合喜久男」氏が勇退	
	〃	「仁木保志」氏が4代消防長に就任	

昭和55年	3月	【消防本部（署）】職員待機宿舍兼車庫新築（補強コンクリート3階1棟4戸 451.68㎡）
	4月	消防署と温泉支署が統合、2課4係制となる
	6月	毎月15日を防火の日に設定する
	7月	西胆振消防組合発足10周年記念祝賀会を開催
	11月	【豊浦支署】職員待機宿舍新築（鉄骨トリアール2階1棟3戸 223.56㎡）
昭和56年	3月	長万部町と西胆振消防組合との間に消防相互応援協定を締結
	7月	胆振地方消防総合訓練大会を洞爺湖温泉町で開催
昭和58年	4月	虻田町防火管理者協議会・危険物安全協会設立
	5月	大滝村防火協会設立
	10月	洞爺村防火協会設立
昭和59年	4月	壮瞥町防火協会設立
	〃	豊浦町防火協会設立
	7月	北海道消防操法訓練大会において、第2種ポンプ車操法で虻田消防団が準優勝
昭和60年	4月	千歳市と西胆振消防組合との間に消防相互応援協定を締結
	7月	全道消防救助技術訓練指導会で、ロープ登はんの部優勝
	〃	胆振地方消防総合訓練大会（登別市で開催）において、第2種ポンプ車操法・第3種小型ポンプ操法で洞爺消防団が優勝
	8月	【大滝消防団】第1分団詰所新築（木造10坪 64.59㎡）
昭和61年	7月	北海道消防操法訓練大会において、第3種小型ポンプ操法で洞爺消防団が優勝
	〃	全道消防救助技術訓練指導会で、ほふく救出の部優勝
	8月	【大滝消防団】第1分団愛地地区器具置場新築（木造 9.72㎡）
	10月	社団法人日本損害保険協会と西胆振消防組合消防本部共催の防火講演会を洞爺湖文化センターで開催（受講者223名）
	11月	【豊浦支署】車庫増築（鉄骨コンクリート 20.376㎡）
〃	【大滝消防団】第2分団車庫兼詰所新築（木造トリアール張り 49.27㎡/水力発電施設交付金）	
昭和62年	7月	全道消防救助技術訓練指導会で、ほふく救出の部優勝
昭和63年	3月	登別市と西胆振消防組合との間に消防相互応援協定を締結
	7月	全道消防救助技術訓練指導会で、梯子登はんの部準優勝
	〃	胆振地方消防総合訓練大会（伊達市で開催）において、第2種ポンプ車操法で壮瞥消防団が優勝
平成元年	1月	【大滝支署】無線サイレン吹鳴装置新設
	3月	消防長「仁木保志」氏が勇退
	4月	「星賢」氏が5代消防長に就任
	9月	【豊浦支署】会議室及び器具庫増築（木造2階 127.93㎡）
平成2年	3月	【洞爺支署】小型動力ポンプ付積載車用車庫新築（軽量鉄骨造 20.0㎡）
	6月	胆振地方消防総合訓練大会を洞爺村で開催し、同大会において、ポンプ操法で虻田消防団が優勝
	7月	西胆振消防組合設立20周年祝賀会を開催
	8月	全道消防救助技術訓練指導会で、ロープ応用登はんの部優勝、はしご登はんの部準優勝

平成3年	1月 3月 4月 " 6月	【大滝消防団】第2分団優徳地区詰所兼車庫新築（木造 66㎡） 消防長「星 賢」氏が勇退 「前谷休市」氏が6代消防長に就任 全道広域消防応援協定を締結 西胆振危険物安全協会設立
平成4年	2月 7月 12月	【壮瞥消防団】第5分団仲洞爺地区詰所兼車庫新築（木造 67.9㎡/水力発電施設交付金） 胆振地方消防総合訓練大会（厚真町で開催）において、ポンプ車操法で豊浦消防団が優勝、小型ポンプ操法で虻田消防団が優勝 壮瞥消防団：第4分団蟠溪地区詰所兼車庫新築（木造 67.92㎡/水力発電施設交付金）
平成5年	4月 " 9月 " " 10月 " 12月	高速自動車道北海道消防連絡協議会加入 虻田町防火管理者協議会・危険物安全協会10周年記念祝賀会開催 【豊浦支署】救急車用車庫及び仮眠室増築（鉄骨造2階 56.36㎡） 【壮瞥支署】事務所増築（鉄筋コンクリート 19.8㎡） 【壮瞥支署】救急車用車庫増築（鉄筋コンクリート 72.0㎡） 豊浦支署、大岸、礼文華分遣所を統廃合し、豊浦支署に統合 【消防署、豊浦支署、壮瞥支署】救急車3台体制運用開始 豊浦町防火協会設立10周年記念祝賀会開催
平成6年	3月 " " 7月 8月 " 10月 " 11月	日本道路公団札幌建設局と救急業務に関する協定覚書締結 道央自動車道、虻田・洞爺湖インターにおいて高速自動車道防災総合訓練を実施 西胆振幼少年婦人防火委員会設立 北海道消防操法訓練大会において、ポンプ車操法で虻田消防団が準優勝 洞爺村幼少年婦人防火委員会設立 「有珠山との共生、噴火の特徴と減災への備え、昭和新山噴火50周年に考える」をテーマに防災研修会開催 消防長「前谷休市」氏、虻田町収入役に就任 「佐藤 忠」氏が7代消防長に就任 壮瞥町幼少年婦人防火委員会設立
平成7年	6月 7月 10月 11月 12月	財団法人北海道消防協会より洞爺湖温泉1区婦人防火クラブに表彰授与 全道消防救助技術訓練指導会で、はしご登はんの部3位 有珠山噴火総合防災訓練（昭和新山々麓） 婦人防火クラブ西胆振地区大会を開催 西胆振消防組合の防火シンボルマーク制定
平成8年	3月 " 4月 7月 " 8月	西胆振消防組合総合庁舎完成（地下1階・地上1階、鉄筋コンクリート 1,411.65㎡） 消防緊急通信指令施設I型導入 西胆振消防組合総合庁舎業務開始 胆振地方消防操法訓練大会（白老町で開催）において、小型ポンプ操法の部で豊浦消防団が優勝、虻田消防団が準優勝、洞爺消防団が第3位、ポンプ車操法の部で虻田消防団が準優勝 北海道消防操法訓練大会において、小型ポンプ操法の部で豊浦消防団が優良賞 【豊浦支署】サイレン吹鳴装置更新
平成9年	2月 7月 " 10月 "	財団法人日本消防協会より洞爺消防団に表彰旗授与 全道消防救助技術訓練指導会で、斜めブリッチ救助の部準優勝 壮瞥公民館にて有珠山噴火20周年記念講演会を開催 道央自動車道長万部インターにおいて高速自動車道防災総合訓練を実施 【豊浦支署】大和地区動力サイレン吹鳴装置更新

平成10年	6月 7月 8月 10月 " 11月	財団法人北海道消防協会より壮警消防団に優良消防団表彰旗受与 胆振地方消防操法訓練大会を大滝村で開催し、同大会において、小型ポンプ操法の部で大滝消防団が優勝、壮警消防団が準優勝、洞爺消防団が第3位 【壮警支署】蟻溪地区動力サイレン吹鳴装置更新 壮警町三恵病院において合同訓練を実施（虻田・壮警・洞爺） 【豊浦支署】山梨地区動力サイレン吹鳴装置更新 北海道知事より洞爺消防団が表彰旗受与
平成11年	2月 " " 7月 " " 9月 10月	財団法人日本消防協会より豊浦消防団に表彰旗受与 【消防署】高規格救急車（日産）配備 【消防署】救助工作車Ⅱ型（日野）配備 【壮警支署】滝之町地区動力サイレン吹鳴装置更新 北海道消防操法訓練大会において、小型ポンプ操法の部で壮警消防団が優良賞 全道消防救助技術訓練指導会で、はしご登はんの部準優勝 【豊浦支署】美和地区動力サイレン吹鳴装置更新 【豊浦支署】大岸駅前地区動力サイレン吹鳴装置新設
平成12年	2月 3月 8月 9月 10月 " 12月	屈折はしご付消防ポンプ自動車を配備 A2級8tシャシー最大地上高25.9m 「高輝度照明装置・泡消火薬剤放出装置装備」（日野） 31日午後1時08分 有珠山（西側）西山山麓から噴火（噴煙3,200mまで上昇） ※ 虻田町は一部地域を除き町内全域に避難指示（人口の95%） 消防庁長官より消防本部・各消防団に褒状授与（有珠山噴火災害活動に対する功労） 【壮警支署】南久保内地区動力サイレン吹鳴装置更新 【洞爺支署】財田地区無線サイレン吹鳴装置新設 【虻田消防団】マイクロバス購入（日本消防協会支援金事業） 【壮警支署】指揮車兼人員輸送車購入（日本消防協会支援金事業）
平成13年	3月 " 4月 " 6月 7月 8月 9月 10月 11月	【豊浦支署】2B型救急車（トヨタ）配備（山之内製薬より寄贈） 消防長「佐藤 忠」氏が勇退 「梅津幸男」氏が8代消防長に就任（前消防署長） 消防署温泉分署を設置（職員12名で業務開始） 胆振地方消防訓練大会（苫小牧市で開催）において、ポンプ車操法の部で豊浦消防団が優勝、小型ポンプ操法の部で虻田消防団が準優勝 北海道消防操法訓練大会において、小型ポンプ操法の部で虻田消防団が優良賞 北海道知事より消防本部・各消防団に表彰状授与（有珠山噴火災害活動に対する功労） 【壮警支署】連絡車購入（水力発電周辺地域交付金事業） 消防庁長官より消防本部・各消防団に表彰状（楯）授与（有珠山噴火災害活動に対する功労） 【温泉分署】消防ポンプ自動車（日野）配備 CDⅠ型 A2級4輪駆動
平成14年	2月 3月 4月 7月 9月 11月 12月	財団法人日本消防協会より大滝消防団に表彰旗受与 消防庁長官より消防本部・壮警消防団に竿頭授与（有珠山噴火災害に対する功労） 【壮警消防団】第5分団仲洞爺地区詰所兼車庫新築（木造79.49㎡） 全道消防救助技術訓練指導会で、はしご登はんの部準優勝 内閣総理大臣より消防本部・各消防団に防災功労表彰授与 【壮警支署】高規格救急車配備 【壮警支署、温泉分署】水槽付消防ポンプ自動車（日野）配備 Ⅱ型 A2級・6AT

平成15年	3月	虻田町役場・西胆振消防組合消防本部消防署合同庁舎完成（地上3階・鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 6,156㎡、1階消防庁舎1,484㎡）
	"	消防緊急通信指令施設整備事業（Ⅰ型）
	"	【豊浦支署】新庁舎完成（地上2階・鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 803.29㎡）
	4月	【消防本部】連絡車配備
	6月	胆振地方消防訓練大会（登別市で開催）において、ポンプ車操法・小型ポンプ車操法の部で、虻田消防団が優勝
	7月	有珠山噴火災害復興状況等、来道された天皇・皇后両陛下が被災地の虻田町をご訪問
	"	全道消防救助技術訓練指導会で、はしご登はんの部優勝
	"	【消防本部】指令車配備
	8月	【豊浦支署】団員搬送車配備
	10月	【壮瞥支署】積載車更新
平成16年	1月	【豊浦支署】小型ポンプ付水槽車（日野）配備 II型 B2級6AT 高輝度照明装置装備
	3月	消防庁長官より消防本部に褒状授与（苫小牧市、石油タンク火災応援に対する功労）
	4月	【豊浦消防団】第4分団を解散、洞爺観光ホテルにて閉団式を開催
	11月	北海道知事より大滝消防団に竿頭授与
	12月	【豊浦支署】高規格救急車（日産）配備
平成17年	3月	消防庁長官より豊浦消防団に竿頭授与
	7月	北海道消防操法訓練大会において、小型ポンプ操法の部に洞爺消防団が出場
	"	全道消防救助技術訓練指導会で、はしご登はんの部優勝、ほふく救出の部で優勝
	10月	組合発足35周年消防組合合同訓練を実施
平成18年	2月	西胆振消防組合に伊達市が加入。伊達消防署発足
	"	消防本部が伊達市に移転し、伊達消防署と合同庁舎
	"	洞爺湖消防署と伊達消防署の2署、4支署、1分署、2出張所の体制となる
	3月	伊達市と大滝村が合併し伊達市、虻田町と洞爺村が合併し洞爺湖町、消防組合の構成は伊達市、洞爺湖町、豊浦町、壮瞥町の4市町となる
	"	消防庁長官より洞爺消防団に竿頭授与
	6月	胆振地方消防訓練大会（むかわ町で開催）において、小型ポンプ操法の部で虻田消防団が優勝
	"	全国消防救助技術大会で、はしご登はんの部入賞
	9月	【伊達消防署】査察車更新
	12月	【伊達消防署】有珠出張所動力サイレン及びサイレン塔更新
"	【伊達消防署】空気充填機購入	
"	【伊達消防団】第6分団小型動力ポンプ更新	
"	【大滝支署】広報連絡車更新	
平成19年	10月	伊達消防団と大滝消防団が組織統合し伊達消防団、虻田消防団と洞爺消防団が組織統合し洞爺湖消防団となり、構成市町に各1消防団の体制となる
平成20年	3月	【壮瞥支署】新庁舎完成（そうべつ情報館との合築 地上2階・鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造、延べ面積 2,334.05㎡、内消防庁舎面積 932,683㎡）
	"	消防長「梅津幸男」が勇退
	4月	「阿部寿和」氏が9代消防長に就任（前伊達消防署長）
	7月	北海道洞爺湖サミット開催（主会場：ザ・ウインザーホテル洞爺） 西胆振消防組合消防特別警戒実施（7月3日～7月11日）
	9月	消防庁長官より消防本部に褒状授与（北海道洞爺湖サミット消防特別警戒に対する功労）
	12月	【大滝支署】資機材搬送車配備

平成21年	1月 3月 " 6月 11月 12月	【大滝支署】水槽付消防ポンプ自動車（日野）更新 II型 A2級 消防庁長官より壮警消防団に表彰旗授与 【伊達消防署】高規格救急車（日産）更新（伊達救急I） 胆振地方消防訓練大会を伊達市大滝区で開催し、同大会において、洞爺湖消防団が小型ポンプ操法の部で優勝 北海道知事より豊浦消防団に表彰旗授与 【伊達消防団】第1分団消防ポンプ自動車更新
平成22年	3月 7月 8月 9月 10月	【洞爺分署】庁舎一部改築する 全道消防救助技術訓練指導会で、ロープブリッジ渡過の部優勝 全国消防救助技術大会で、ロープブリッジ渡過の部入賞 【豊浦支署】水槽付消防ポンプ自動車（日野）更新 II型 A2級 有珠火山防災会議協議会4市町合同防災訓練（豊浦町）に参加する
平成23年	3月 " 4月 7月 9月 10月 " 11月	11日14時46分、東日本大震災が発生し沿岸部に甚大な被害を受ける 東日本大震災に伴い、緊急消防援助隊を派遣する " 北海道消防操法訓練大会において、小型ポンプ操法の部で伊達消防団が優良賞 【壮警消防団】第2分団消防ポンプ自動車更新 全国消防長会より表彰状授与（東日本大震災に際し緊急消防援助隊派遣に対する功労） 有珠山火山噴火総合防災訓練（壮警町）に参加する 総務大臣より表彰状授与（東日本大震災に際し緊急消防援助隊派遣に対する功労）
平成24年	3月 " " 4月 " 6月 7月 12月	【黄金出張所】水槽付消防ポンプ自動車（日野）更新 I-A型 A2級 【豊浦支署】指揮車更新 消防長「阿部寿和」氏が勇退 「山木 茂」氏が10代消防長に就任（前消防本部次長兼伊達消防署長） 洞爺湖消防署と伊達消防署の2署体制を伊達消防署の1署体制へ、洞爺湖消防署は温泉分署を統合し洞爺湖支署へと組織改編し、1署、3支署、4出張所の体制となる 胆振地方消防訓練大会（白老町で開催）において、小型ポンプ操法の部で壮警消防団が優勝、ポンプ車操法の部で洞爺湖消防団が準優勝 北海道消防操法訓練大会において、小型ポンプ操法の部に壮警消防団が出場 【豊浦消防団】第2分団大岸積載車更新
平成25年	7月 8月 10月 12月 "	全道消防救助技術訓練指導会で、ロープブリッジ渡過の部優勝 全国消防救助技術大会で、ロープブリッジ渡過の部入賞、ロープ応用登はんの部入賞 平成25年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練（苫小牧市）に参加する 【洞爺湖支署】高規格救急車（日産）更新 【洞爺湖支署】洞爺湖町文化交流会館横動カサイレン及びサイレン塔更新
平成26年	2月 3月 4月 " " " 7月 11月	【豊浦消防団】礼文華積載車更新 消防長「山木 茂」氏が勇退 「鉤巻義和」氏が11代消防長に就任（前消防本部次長兼伊達消防署長） " 大滝出張所及び洞爺出張所の係制を廃止 " 【豊浦消防団】小型ポンプ車、水難救助用ゴムボート配備 " 【伊達消防署】水難救助用ゴムボート更新 北海道消防操法訓練大会において、ポンプ車操法の部に豊浦消防団が出場 【壮警支署】高規格救急車（日産）更新

平成27年	3月	消防長「鉤巻義和」氏が勇退
	4月	「佐藤徹也」氏が12代消防長に就任（前消防本部長兼伊達消防署長）
	〃	伊達消防署有珠出張所・黄金出張所を有珠分遣所・黄金分遣所に改する
	7月	全道消防救助技術訓練指導会で、ロープブリッジ渡過の部3位
	〃	胆振地方消防訓練大会（室蘭市で開催）において、ポンプ車操法・小型ポンプ車操法の部で壮警消防団が準優勝
	8月	全国消防救助技術大会で、ロープブリッジ渡過の部入賞、はしご登はんの部入賞
	12月	【伊達消防署】防災活動車配備
平成28年	2月	【伊達消防署】高規格救急車（日産）更新（伊達救急3）
	3月	消防救急デジタル無線・高機能指令センター運用開始し、伊達消防署と洞爺湖支署の指令台を伊達消防署に集約する
	〃	【洞爺出張所】新庁舎完成（地上2階・鉄筋コンクリート造、延べ面積 478.08㎡）
	〃	消防庁長官よりとうや小学校少年消防クラブに消防庁長官賞授与（優良な少年消防クラブ）
	5月	【消防本部】連絡車更新
	6月	【豊浦支署】軽トラック配備
	10月	【豊浦支署】2号車更新（CD-1）
	11月	【壮警支署】事務連絡車更新
	12月	【洞爺湖支署】小型動力ポンプ付積載車配備（日本損害保険協会より寄贈）
平成29年	3月	公益財団法人日本消防協会より洞爺湖消防団に特別表彰まとい授与
	4月	西胆振消防組合初の女性消防吏員を採用
	6月	火葬場整備事業の実施に伴い、名称を「西胆振行政事務組合」と改する
	9月	台風18号の影響で、管内で冠水や浸水被害が発生する
	〃	【洞爺出張所】広報連絡車更新
	10月	【洞爺出張所】1号車更新（CD-II）
平成30年	1月	【壮警支署】壮警2号車更新（CD-1）
	〃	【伊達消防署】第3分団積載車更新（軽自動車）
	3月	【伊達消防署】救助工作車更新
	4月	消防長「佐藤徹也」氏が現職再任用される
	7月	全道消防救助技術訓練指導会で、ほふく救出の部入賞（地区代表）、はしご登はんの部入賞（地区代表）
	〃	胆振地方消防訓練大会（苫小牧市で開催）において、ポンプ車操法の部で洞爺湖消防団が準優勝、小型ポンプ車操法の部で洞爺湖消防団が優勝する
	9月	6日3時7分、北海道胆振東部地震発生し、北海道全域で電力が止まる「ブラックアウト」状態となる
	〃	北海道胆振東部地震に伴い、北海道広域消防相互応援協定により救助隊、救急隊、支援隊を派遣する
	11月	【伊達消防署】化学車更新
令和元年 (H31)	2月	【伊達消防団】伊達連絡車・第3分団はくちょう号更新
	3月	【消防本部】西胆振指揮車更新
	6月	【伊達消防署】事務連絡車配備・査察車更新
	7月	全道消防救助技術訓練指導会で、ほふく救出の部入賞（地区代表）
	8月	【伊達消防団】第4分団めぐみ号・第6分団積載車・第7分団かもめ号更新
	12月	【洞爺湖消防団】洞爺積載車更新
令和2年	1月	【豊浦支署】高規格救急車（日産）更新
	3月	【洞爺出張所】大型水槽車更新
	11月	【伊達消防団】第2分団長流号・第5分団あおぞら号更新
令和3年	2月	【伊達消防署】高規格救急車（日産）更新（伊達救急1）
令和4年	2月	【伊達消防署】伊達指揮車 【伊達消防団】第1分団積載車更新（軽自動車）
	3月	消防長「佐藤徹也」氏が勇退
	〃	伊達消防署有珠分遣所が閉所
	4月	「今村浩幸」氏が13代消防長に就任（前消防本部長）
	7月	全道消防救助技術訓練指導会で、はしご登はんの部入賞（地区代表）
令和5年	1月	【洞爺湖支署】高規格救急車（日産）更新
	7月	全道消防救助技術訓練指導会で、ロープブリッジ渡過の部、はしご登はんの部において全国大会出場権獲得（地区代表）
	〃	【消防本部】本部軽自動車更新
	8月	全国消防救助技術訓練指導会で、ロープブリッジ渡過の部入賞、はしご登はんの部入賞
	9月	【伊達消防署】大型水槽車更新
	〃	【洞爺湖支署】連絡車更新

2 歴代消防長

消防長			
氏名	就任	退任	備考
藤原重雄	S 45 . 8 . 4	S 50 . 4 . 1	昭和45年7月組合発足
田代正三	S 50 . 4 . 2	S 52 . 7 . 9	
水合喜久男	S 52 . 8 . 15	S 54 . 12 . 10	
仁木保志	S 54 . 12 . 11	H 1 . 3 . 31	
星賢	H 1 . 4 . 1	H 3 . 3 . 31	
前谷休市	H 3 . 4 . 1	H 6 . 9 . 30	
佐藤忠	H 6 . 10 . 1	H 13 . 3 . 30	
梅津幸男	H 13 . 4 . 1	H 20 . 3 . 31	平成18年2月伊達市加入
阿部寿和	H 20 . 4 . 1	H 24 . 3 . 31	
山木茂	H 24 . 4 . 1	H 26 . 3 . 31	
鉤巻義和	H 26 . 4 . 1	H 27 . 3 . 31	
佐藤徹也	H 27 . 4 . 1	H 30 . 3 . 31	平成29年6月組合名称変更
	H 30 . 4 . 1	R 4 . 3 . 31	現職再任用
今村浩幸	R 4 . 4 . 1	現在に至る	

3 歴代消防次長

西胆振行政事務組合 次長			
氏名	就任	退任	備考
武川克由	H 28 . 4 . 1	H 31 . 3 . 31	平成29年6月組合名称変更
今村浩幸	R 3 . 4 . 1	R 4 . 3 . 31	
大西靖	R 4 . 4 . 1	現在に至る	

西胆振行政事務組合 次長兼伊達消防署長			
氏名	就任	退任	備考
上野清榮	H 18 . 2 . 1	H 18 . 10 . 9	
阿部寿和	H 18 . 10 . 18	H 20 . 3 . 31	
山木茂	H 21 . 4 . 1	H 24 . 3 . 31	
鉤巻義和	H 24 . 4 . 1	H 26 . 3 . 31	
佐藤徹也	H 26 . 4 . 1	H 27 . 3 . 31	
丸山芳明	H 27 . 4 . 1	H 28 . 3 . 31	
今村浩幸	H 31 . 4 . 1	R 3 . 3 . 31	平成29年6月組合名称変更
大西靖	R 4 . 4 . 1	現在に至る	

4 歴代消防署長

西胆振行政事務組合 伊達消防署長			
氏名	就任	退任	備考
小野政美	H 20 . 4 . 1	H 21 . 3 . 31	
丸山芳明	H 28 . 4 . 1	H 31 . 3 . 31	平成29年6月組合名称変更
今村浩幸	H 31 . 4 . 1	R 3 . 3 . 31	
大西靖	R 3 . 4 . 1	現在に至る	

西胆振消防組合 消防署長			
氏名	就任	退任	備考
藤原重雄	S 45 . 8 . 4	S 50 . 3 . 31	
正源方	S 50 . 4 . 1	S 54 . 11 . 9	
内村正雄	S 61 . 4 . 1	H 1 . 3 . 31	
星賢	H 1 . 4 . 1	H 1 . 4 . 9	
塚田龍太	H 1 . 4 . 10	H 3 . 7 . 31	
前谷休市	H 3 . 8 . 1	H 3 . 8 . 19	
小山政義	H 3 . 8 . 20	H 7 . 3 . 31	
菅原義明	H 7 . 4 . 1	H 8 . 3 . 31	
梅津幸男	H 8 . 4 . 1	H 13 . 3 . 31	
黒川優則	H 13 . 4 . 1	H 15 . 11 . 12	
沼田盛昭	H 15 . 12 . 15	H 17 . 3 . 31	
牧修治	H 17 . 4 . 1	H 18 . 1 . 31	

※伊達市消防本部・署 平成18年2月1日、西胆振消防組合へ加入する。

西胆振消防組合 洞爺湖消防署長			
氏名	就任	退任	備考
牧 修 治	H 18 . 2 . 1	H 18 . 3 . 31	
黒 川 優 則	H 18 . 4 . 1	H 20 . 3 . 31	
瓶 子 滋	H 20 . 4 . 1	H 22 . 3 . 31	
武 川 敏 雄	H 22 . 4 . 1	H 24 . 3 . 31	

※伊達市消防本部・署 平成18年2月1日、西胆振消防組合へ加入する。

※平成24年4月1日より一署体制となり、洞爺湖消防署から洞爺湖支署となる。

5 歴代消防団長

【伊達市】

伊達消防団長			
氏名	就任	退任	備考
増 岡 正 三	S 22 . 8 . 11	S 24 . 12 . 7	
大 平 寅 二 郎	S 24 . 12 . 8	S 41 . 3 . 31	
阿 部 敦	S 41 . 4 . 1	S 51 . 3 . 31	
井 澤 直 行	S 51 . 4 . 1	H 13 . 5 . 31	
酒 井 年 勝	H 13 . 6 . 1	H 19 . 9 . 30	平成18年2月組合加入
寺 島 茂 之	H 19 . 10 . 1	H 23 . 9 . 30	
三 戸 部 正 行	H 23 . 10 . 1	R 1 . 9 . 30	
藤 原 達 雄	R 1 . 10 . 1	現在に至る	

大滝消防団長			
氏名	就任	退任	備考
今 井 栄 一	S 22 . 7 . 7	S 36 . 3 . 31	
鈴 木 喜 一	S 36 . 4 . 1	S 42 . 11 . 12	
横 山 行 義	S 42 . 11 . 13	S 46 . 5 . 10	
栗 林 関 太 郎	S 46 . 5 . 11	S 54 . 9 . 30	
渡 辺 幾 三 郎	S 54 . 10 . 1	S 59 . 3 . 31	
半 澤 正 男	S 59 . 4 . 1	H 3 . 9 . 30	
田 淵 敏 廣	H 3 . 10 . 1	H 19 . 9 . 30	

※伊達市消防団・大滝消防団 平成19年10月1日、伊達市・大滝村合併に伴い組織統合する。

【洞爺湖町】

洞爺湖消防団長			
氏名	就任	退任	備考
寺島 勉	H 19 . 10 . 1	R 5 . 9 . 30	
矢野 克典	R 5 . 10 . 1	現在に至る	

虻田消防団長			
氏名	就任	退任	備考
川又 四郎	S 22 . 8 . 21	S 26 . 9 . 19	
小林 新四郎	S 26 . 9 . 19	S 40 . 6 . 9	
小齊 秀雄	S 40 . 6 . 10	S 48 . 4 . 13	
石畑 外吉	S 48 . 5 . 1	S 50 . 9 . 30	
山口 武司	S 50 . 10 . 1	S 62 . 9 . 30	
妻木 鬼久蔵	S 62 . 10 . 1	H 3 . 9 . 30	
川南 明則	H 3 . 10 . 1	H 15 . 11 . 12	
菅原 義明	H 15 . 12 . 15	H 19 . 9 . 30	

※虻田消防団と洞爺消防団 平成19年10月1日、虻田町・洞爺村合併に伴い組織統合する。

洞爺消防団長			
氏名	就任	退任	備考
安藤 延市	S 23 . 10 . 1	S 29 . 6 . 14	
尾崎 勇	S 29 . 6 . 15	S 37 . 3 . 31	
野田 義勝	S 37 . 4 . 1	S 54 . 9 . 30	
星 圭治	S 54 . 10 . 1	S 58 . 9 . 30	
中澤 勇	S 58 . 10 . 1	S 62 . 9 . 30	
橋本 勇吉	S 62 . 10 . 1	H 15 . 9 . 30	
佐伯 義規	H 15 . 10 . 1	H 19 . 9 . 30	

※虻田消防団と洞爺消防団 平成19年10月1日、虻田町・洞爺村合併に伴い組織統合する。

【豊浦町】

豊浦消防団長			
氏名	就任	退任	備考
保原 竹蔵	S 22 . 9 . 1	S 28 . 12 . 31	
小野 信	S 29 . 1 . 1	S 41 . 3 . 30	
三上 静雄	S 41 . 4 . 1	S 46 . 2 . 28	
小川 晃	S 46 . 3 . 1	S 62 . 9 . 30	
須藤 幸一	S 62 . 10 . 1	H 5 . 9 . 30	
金丸 昭	H 5 . 10 . 1	H 11 . 9 . 30	
玉川 善晴	H 11 . 10 . 1	H 15 . 9 . 30	
進藤 枉信	H 15 . 10 . 1	H 22 . 11 . 30	
佐々木 功	H 22 . 12 . 1	H 24 . 5 . 2	
久保 政徳	H 24 . 5 . 7	現在に至る	

【壮瞥町】

壮瞥消防団長			
氏名	就任	退任	備考
西島 吉太郎	S 22 . 7 . 15	S 24 . 11 . 30	
石川 高蔵	S 24 . 12 . 1	S 30 . 10 . 1	
岩倉 菊五郎	S 30 . 10 . 2	S 42 . 9 . 30	
田中 宮太	S 42 . 10 . 1	S 46 . 9 . 30	
山本 小吉	S 46 . 10 . 1	H 3 . 9 . 30	
岩倉 博	H 3 . 10 . 1	H 15 . 9 . 30	
齊藤 稔	H 15 . 10 . 1	H 23 . 9 . 30	
中山 雄三	H 23 . 10 . 1	現在に至る	

6 位 置

西胆振行政事務組合は北海道の南西部に位置し、道内有数の観光地洞爺湖を始め、恵まれた自然風土を背景に多彩な産業が生まれ、農業、水産業を基幹産業とした緑豊かな田園風景の地域にある。

7 面 積

1063.60 km²	伊 達 市	444.21 km ²
	豊 浦 町	233.57 km ²
	壮 瞥 町	205.01 km ²
	洞 爺 湖 町	180.81 km ²

豊浦町

いちご・豚肉・ホタテ

温暖な気候に恵まれ農業、漁業の盛んな町で、品質の良い産物が多くイチゴ、豚肉は絶品である。

洞爺湖町

有珠山・洞爺湖温泉

観光と漁業の盛んな町でウニ、カレイ等の水産加工が盛んである。洞爺湖に面し、山あり、森あり、溪流ありと、大自然に囲まれアウトドアのメッカ。洞爺湖温泉街には多くの観光客が訪れる。

伊達市

歴史・温泉・きのこ

四季を通じて温暖な気候に恵まれていることから『北の湘南』と呼ばれ、農業、漁業が盛んな町。蝦夷三官寺の善光寺、北黄金貝塚、三階滝など見所がいっぱい。大滝区は山岳丘陵地帯の風土をいかし、美味しい農産物がたくさん。温泉を楽しむ人に癒しを与えている。

西胆振行政事務組合

壮瞥町

くだもの・昭和新山

農業と観光の町。国の特別天然記念物、昭和新山、くだもの村など見所がいっぱい。国際雪合戦の発祥の地である。

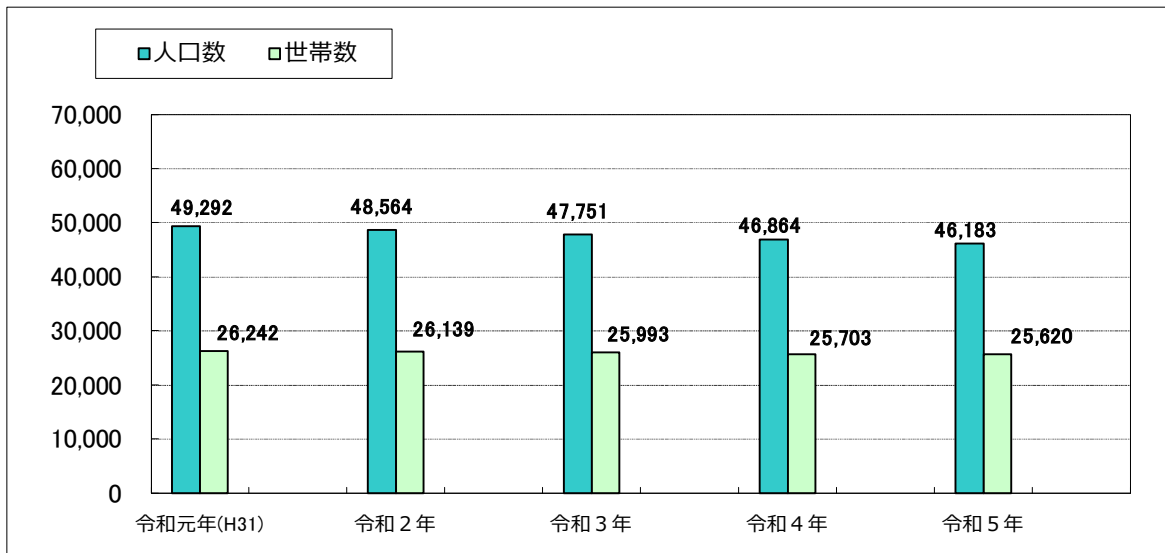
8 人口・世帯数

令和5年4月1日 現在

区分 市町	世帯数	人口		
		男	女	計
伊達市	17,586	14,906	17,212	32,118
洞爺湖町	4,709	3,749	4,346	8,095
豊浦町	2,040	1,720	1,874	3,594
壮瞥町	1,285	1,135	1,241	2,376
計	25,620	21,510	24,673	46,183

9 人口・世帯数過去5年間の推移

令和5年4月1日 現在



区分	年別	令和元年(H31)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
	人口数		49,292	48,564	47,751	46,864
世帯数		26,242	26,139	25,993	25,703	25,620